

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年1月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第48期第1四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日） |
| 【会社名】 | 旭化学工業株式会社 |
| 【英訳名】 | ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 杉浦 武 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。） |
| 【電話番号】 | 該当事項はありません。 |
| 【事務連絡者氏名】 | 該当事項はありません。 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3 |
| 【電話番号】 | （0566）92-4181（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役総務部長 奥村 哲男 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第47期 第1四半期連結 累計期間 | 第48期 第1四半期連結 累計期間 | 第47期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年9月1日 至平成24年11月30日 | 自平成25年9月1日 至平成25年11月30日 | 自平成24年9月1日 至平成25年8月31日 |
| 売上高(千円) | 1,402,309 | 1,748,748 | 6,864,182 |
| 経常利益(千円) | 54,741 | 32,931 | 188,846 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 38,004 | 20,232 | 100,926 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 10,160 | 4,088 | 796,705 |
| 純資産額(千円) | 4,621,205 | 5,374,451 | 5,393,135 |
| 総資産額(千円) | 5,538,543 | 6,430,513 | 6,374,770 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 10.41 | 5.54 | 27.66 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 83.44 | 83.58 | 84.60 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の金融緩和策により為替が円安傾向となり、輸出産業を中心として企業業績が回復し、株価の上昇により個人消費にも改善の兆しがみられました。しかし、企業の設備投資は慎重であり、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界及び自動車業界共に国内販売が好調であり、生産が拡大し受注が増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高17億48百万円（前年同四半期比24.7%増）、営業利益23百万円（同45.9%減）、経常利益32百万円（同39.8%減）、四半期純利益20百万円（同46.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

国内は、自動車業界の国内生産の増加により受注が増加し、売上高は8億36百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益は4百万円（同338.6%増）となりました。

中国

中国は、為替が円安になった影響により、売上高は9億16百万円（同33.4%増）となりましたが、材料費や人件費の上昇により、営業利益は27百万円（同26.5%減）となりました。

タイ

タイは、日系企業への営業活動がまだ販売には至らず、売上高は13百万円（前年同四半期は売上なし）、営業損失は27百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

（2）財政状態の分析

資産合計は、前連結会計年度末と比べ55百万円増加し64億30百万円（前連結会計年度末比0.9%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が38百万円及び原材料及び貯蔵品が28百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ74百万円増加し10億56百万円（前連結会計年度末比7.6%増）となりました。これは主に買掛金が21百万円、賞与引当金が28百万円及びその他流動負債が31百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産の合計は前連結会計年度末と比べ18百万円減少し53億74百万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。これは主に為替換算調整勘定が18百万円減少したことによるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は1百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（5）生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、電動工具成形品及び自動車部品成形品の生産、受注及び販売実績が著しく増加しました。これは、自動車業界の生産の増加により受注が増加したこと、タイ子会社が稼働を開始し販売が開始されたこと及び為替が円安に振れた影響によるものであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,720,000 |
| 計 | 12,720,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年11月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 3,896,000 | 3,896,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 3,896,000 | 3,896,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|---------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年9月1日～ 平成25年11月30日 | - | 3,896,000 | - | 671,787 | - | 717,689 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 246,900 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,647,700 | 36,477 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,400 | - | - |
| 発行済株式総数 | 3,896,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 36,477 | - |

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 旭化学工業(株) | 愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 | 246,900 | - | 246,900 | 6.34 |
| 計 | - | 246,900 | - | 246,900 | 6.34 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,910,893 | 1,920,139 |
| 受取手形及び売掛金 | 934,190 | 973,147 |
| 商品及び製品 | 175,970 | 174,779 |
| 仕掛品 | 83,817 | 83,206 |
| 原材料及び貯蔵品 | 117,960 | 146,304 |
| 繰延税金資産 | 11,649 | 21,877 |
| その他 | 108,201 | 116,583 |
| 貸倒引当金 | 490 | 510 |
| 流動資産合計 | 3,342,192 | 3,435,528 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,135,413 | 1,111,518 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 736,313 | 729,554 |
| 土地 | 950,365 | 948,118 |
| その他(純額) | 28,151 | 36,056 |
| 有形固定資産合計 | 2,850,243 | 2,825,248 |
| 無形固定資産 | 12,328 | 11,541 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 143,160 | 131,606 |
| その他 | 35,474 | 35,219 |
| 貸倒引当金 | 8,630 | 8,630 |
| 投資その他の資産合計 | 170,005 | 158,195 |
| 固定資産合計 | 3,032,577 | 2,994,985 |
| 資産合計 | 6,374,770 | 6,430,513 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 706,938 | 728,923 |
| 未払法人税等 | 35,648 | 28,647 |
| 賞与引当金 | 17,902 | 46,323 |
| 役員賞与引当金 | 5,698 | 7,048 |
| その他 | 140,285 | 172,251 |
| 流動負債合計 | 906,472 | 983,193 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 33,549 | 30,651 |
| 役員退職慰労引当金 | 38,766 | 39,632 |
| その他 | 2,845 | 2,584 |
| 固定負債合計 | 75,161 | 72,868 |
| 負債合計 | 981,634 | 1,056,062 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 671,787 | 671,787 |
| 資本剰余金 | 729,938 | 729,938 |
| 利益剰余金 | 3,692,461 | 3,698,097 |
| 自己株式 | 132,927 | 132,927 |
| 株主資本合計 | 4,961,259 | 4,966,896 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 58,172 | 52,258 |
| 為替換算調整勘定 | 373,703 | 355,296 |
| その他の包括利益累計額合計 | 431,876 | 407,555 |
| 純資産合計 | 5,393,135 | 5,374,451 |
| 負債純資産合計 | 6,374,770 | 6,430,513 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 1,402,309 | 1,748,748 |
| 売上原価 | 1,232,758 | 1,592,351 |
| 売上総利益 | 169,550 | 156,397 |
| 販売費及び一般管理費 | 125,544 | 132,609 |
| 営業利益 | 44,006 | 23,787 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,712 | 7,084 |
| 受取配当金 | 165 | 36 |
| 為替差益 | 2,684 | 487 |
| その他 | 1,174 | 1,593 |
| 営業外収益合計 | 10,735 | 9,201 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 57 |
| 営業外費用合計 | - | 57 |
| 経常利益 | 54,741 | 32,931 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 49 |
| 投資有価証券売却益 | 6,046 | 6,824 |
| 特別利益合計 | 6,046 | 6,874 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 152 | 205 |
| 就業補償金 | 972 | - |
| 特別損失合計 | 1,124 | 205 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 59,663 | 39,600 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26,273 | 29,911 |
| 法人税等調整額 | 4,614 | 10,543 |
| 法人税等合計 | 21,658 | 19,368 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 38,004 | 20,232 |
| 四半期純利益 | 38,004 | 20,232 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 38,004 | 20,232 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,045 | 5,914 |
| 為替換算調整勘定 | 40,888 | 18,406 |
| その他の包括利益合計 | 27,843 | 24,320 |
| 四半期包括利益 | 10,160 | 4,088 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,160 | 4,088 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成25年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 2,632千円 | 1,923千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 43,425千円 | 57,395千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年11月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 40,139 | 11.00 | 平成24年8月31日 | 平成24年11月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成25年11月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 14,596 | 4.00 | 平成25年8月31日 | 平成25年11月27日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 日 本 | 中 国 | タ イ | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|---------|-------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 741,135 | 661,173 | - | 1,402,309 | - | 1,402,309 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | - | 26,350 | - | 26,350 | 26,350 | - |
| 計 | 741,135 | 687,524 | - | 1,428,660 | 26,350 | 1,402,309 |
| セグメント利益又は損失() | 1,136 | 37,456 | 9,734 | 28,859 | 15,146 | 44,006 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 日 本 | 中 国 | タ イ | 計 | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|---------|--------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 836,258 | 900,052 | 12,438 | 1,748,748 | - | 1,748,748 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | - | 16,894 | 1,463 | 18,357 | 18,357 | - |
| 計 | 836,258 | 916,946 | 13,901 | 1,767,106 | 18,357 | 1,748,748 |
| セグメント利益又は損失() | 4,985 | 27,546 | 27,971 | 4,559 | 19,227 | 23,787 |

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 10円41銭 | 5円54銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 38,004 | 20,232 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 38,004 | 20,232 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 3,649 | 3,649 |

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月 9日

旭化学工業株式会社

取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐野 正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 昌也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の平成25年9月1日から平成26年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。